

星の銀貨

DIE STERNTALER

グリム兄弟 Bruder Grimm

青空文庫

むかし、むかし、小さい女の子がありました。この子には、おとうさんもおかあさんもありませんでした。たいへんびんぼうでしたから、しまいには、もう住むにもへやはないし、もうねるにも寝床ねどこがないようになって、とうとうおしまいには、からだにつけたもののほかは、手にもったパンひとかけきりで、それもなさけぶかい人がめぐんでくれたものでした。

でも、この子は、心のすなおな、信心のあつい子でありました。それでも、こんなにして世の中からまるで見すてられてしまっているのです。この子は、やさしい神さまのお力にだけすがって、ひとりぼっち、野原の上をあるいて行きました。すると、そこへ、びんぼうらしい男が出て来て、

「ねえ、なにかたべるものをおくれ。おなかがすいてたまらないよ。」と、いいました。女の子は、もっていたパンひとかけのこらず、その男にやってしまいました。そして、「どうぞ神さまのおめぐみのありますように。」と、いのってやって、またあるきだしました。すると、こんどは、こどもがひとり泣きながらやって来て、

「あたい、あたまがさむくて、こおりそうなの。なにかかぶるものちょうだい。」と、い

いました。

そこで、女の子は、かぶっていたずきんをぬいで、子どもにやりました。

それから、女の子がまたすこし行くと、こんど出て来た子どもは、着物一枚着ずにふるえていました。そこで、じぶんの上着うわぎをぬいで着せてやりました。それからまたすこし行くと、こんど出てきた子どもは、スカートがほしいというので、女の子はそれもぬいで、やりました。

そのうち、女の子はある森にたどり着きました。もうくらくらなくなっていましたが、また、もうひとり子どもが出て来て、肌着はだぎをねだりました。あくまで心のすなおな女の子は、（もうまっくらになっているからだれにもみられやしないでしょう。いいわ、肌着もぬいであげることしましょう。）と、おもって、とうとう肌着までぬいで、やってしまいました。

さて、それまでしてやって、それこそ、ないといって、きれいさっぱりなくなってしまうとき、たちまち、たかい空の上から、お星さまがばらばらおちて来ました。しかも、それがまったくの、ちかちかと白銀色はくぎんいろをした、ターレル銀貨でありました。そのうえ、ついいましたがた、肌着をぬいでやってしまったばかりなのに、女の子は、いつのまにか新

しい肌着をきていて、しかもそれは、この上なくしなやかな麻あさの肌着でありました。女の子は、銀貨をひろいあつめて、それで一しようにゆたかにくらしました。

青空文庫情報

底本：「世界おとぎ文庫（グリム篇）森の小人」小峰書店

1949（昭和24）年2月20日初版発行

1949（昭和24）年12月30日4版発行

※「旧字、旧仮名で書かれた作品を、現代表記にあらためる際の作業指針」に基づいて、底本の表記をあらためました。

入力：大久保ゆう

校正：浅原庸子

2004年6月16日作成

2005年11月12日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

星の銀貨

DIE STERNTALER

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 グリム兄弟 Bruder Grimm

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>